

株式会社コクリエ、大日本ダイヤコンサルタント株式会社

【テーマ】 持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他 ()

地域主体でまわす小規模橋梁の維持管理体制づくり支援モデル

【対象施設】 道路 橋梁 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他 ()

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他 (体制構築支援業務委託)

地域の中立的組織を核としたインフラ維持管理の自走モデルを構築する。第一段階として小規模橋梁の法定点検に取り組み、管理基準準備と人材育成を通じて地域主体へ段階的に移行する。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

ターゲット
小規模な橋梁を多数管理する市町村

課題① 地域内に維持管理ノウハウを構築できる仕組み作り

- ・橋梁維持管理の専門知識・判断基準が行政・地元企業ともに不足
- ・結果として域外事業者への依存が常態化
- ・地域内で技術や運営知見が循環せず、持続性が低い

課題② 点検コスト高止まり構造からの脱却

- ・小規模橋梁に最適化された維持管理手法が体系化されていない
- ・域外依存により調達コストが構造的に高い
- ・コスト抑制のための運営モデル自体が存在していない

②提案内容

地域の非営利組織”を核とした小規模橋梁の維持管理体制づくり

目指す地域の体制

地域の非営利組織によるコーディネート



- ・行政の人材不足を補完
- ・利害関係がなく中立的な立場で運営が可能
- ・地元に着目した継続的な活動が可能

取り組みの流れ

- ①非営利組織のコーディネート能力、地域維持管理を実現する「ノウハウ伝承」のプログラム構築
- ②地域参画を促進するインセンティブ設計の検討（例：地域デジタル通貨）



提案者らの実績

産学官の共同研究により開発された、「小規模橋梁に特化した点検要領（基本定期点検）」を活用



大阪大学先導的学際研究機構主催、有識者評価委員会（近畿地整含む）を経て公表された「自治体の小規模橋梁を対象とした橋梁基本定期点検導入ガイドライン」を活用したスキームを提案（提案者は事務局参画）。現在は市町村職員・地域事業者向けに座学・OJTを実施し、維持管理体制構築を推進。（25年度：18市町村50名参加）

【先進性】 ・維持管理実務ではなく「運営能力」を移転する点
・小規模橋梁に特化した点検手法
・地域の自走化を前提とする構造

【有効性】 ・点検体制、点検要領の変更によるコスト抑制効果
・地域内への知識の蓄積
・地域主体の体制による行政職員の負担減

【汎用性】 ・農道橋、水路、公園施設など他構造物等へ展開可能
・人材不足地域での標準モデル